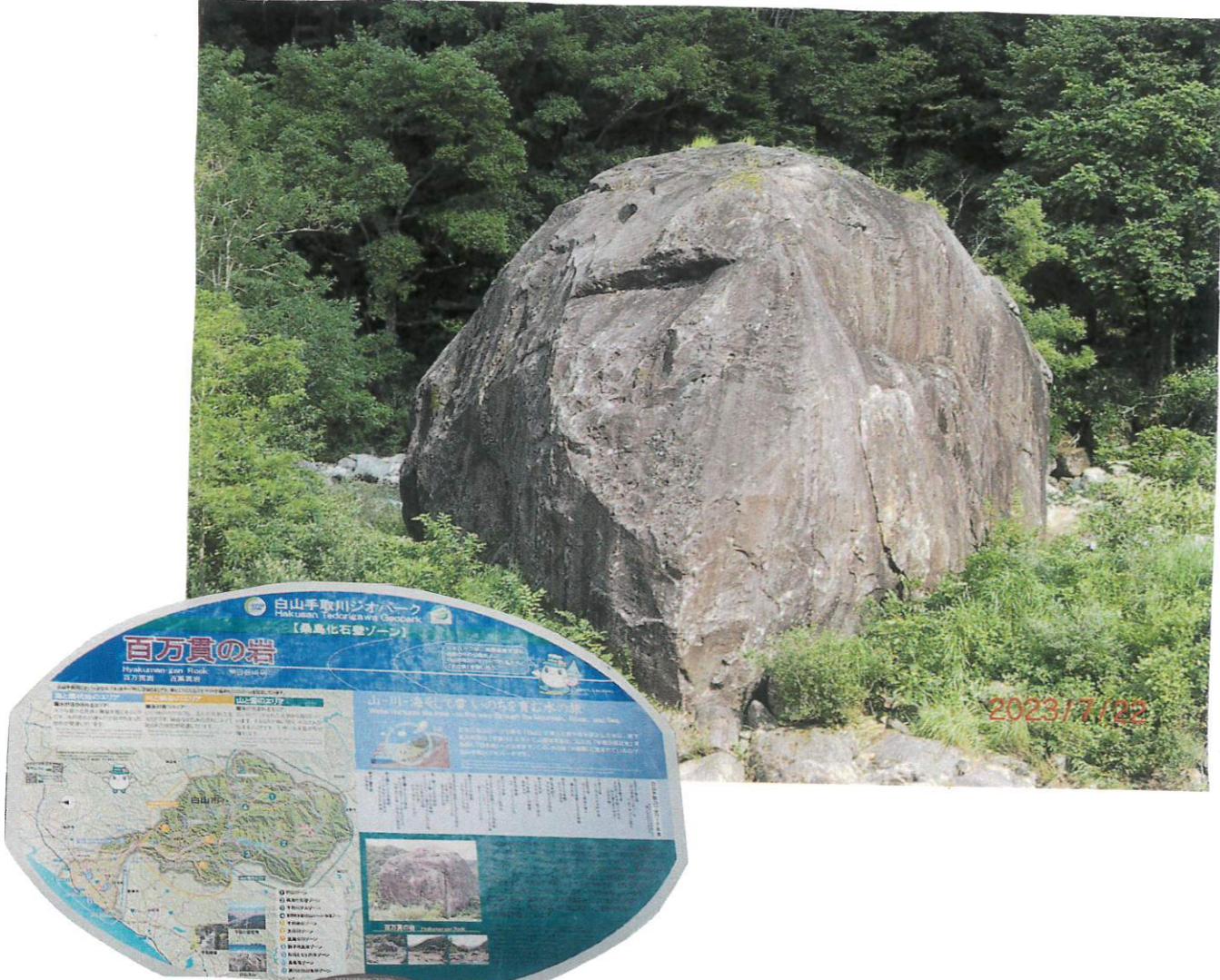


百万貫の岩と土砂災害

～昭和9年に起った大洪水～

目次

- なぜ調べようと思ったのか・どのように調べるか ... 1
- 百万貫の岩 ... 2
- 百万貫の岩が流れたルート ... 3
- 土砂災害かいとは ... 4
- 白峰の特徴と土砂さいかい ... 5
- まとめ:自分が考えたこと ... 6
- 感想・引用、参考にした物 ... 7



松任小学校4年 山崎 愛唯花

＜なぜ調べようと思ったのか★＞

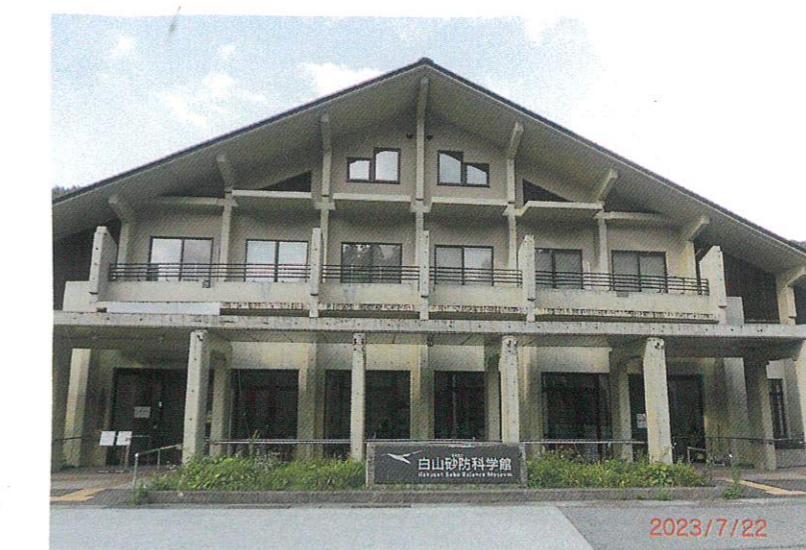
小学校3年生の時、総合の授業で白峰にある百万貫の岩についての話がありました。百万貫の岩はとても大きいこと、大洪水でとても遠くから流れたことを知りました。

そんな時、白山手取川ジオパークが令和5年5月24日ユネスコ世界ジオパークに認定されて、とてもうれしかったので百万貫の岩についても、と知りたくなりました。

そこで、今回、実際に百万貫の岩を見に行って、そんな大きな岩が大洪水でどこから、どんなふうに今あるところまで流れ着いたのかもっとくわしく調べようと思いました。

＜どのように調べるか★＞

- ① 松任小学校の図書室と白山市立松任図書館で災害に関する本をかりる。
- ② 手取川をたどって、百万貫の岩を自分の目で見て、写真をとる。
- ③ 白山砂防科学館へ行き、白山、白峰の特徴や百万貫の岩について学ぶ。
- ④ 白山砂防科学館で学んだことや、①でかりた本を使いまとめる。



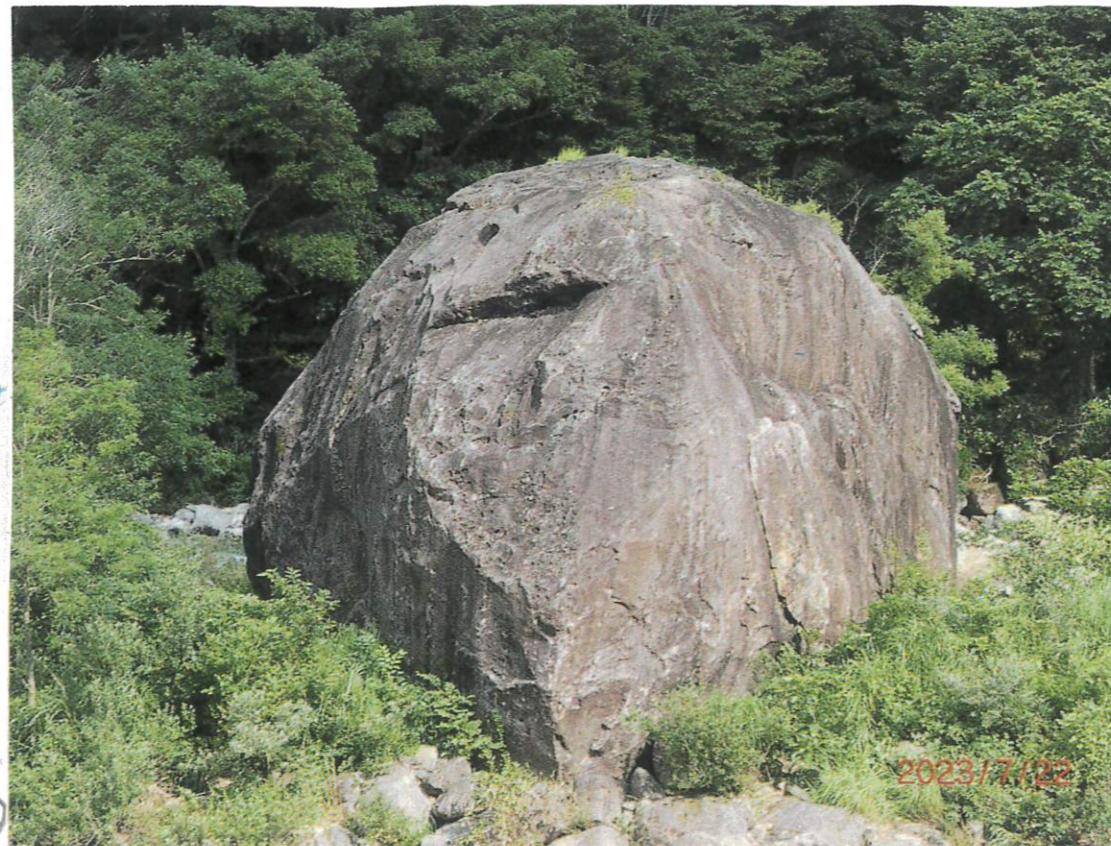
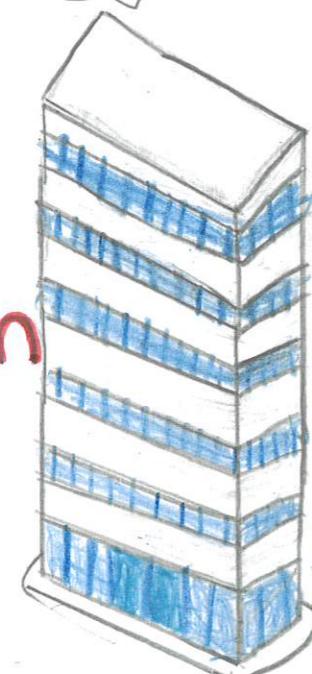
百万貫の岩

昭和9年に起きた手取川大洪水のさいに、支流の宮谷川から
3kmほどをきよりを運ばれてきた巨大な石です。

土石流によって、多くの石や土砂といっしょに運ばれてきたと
考えられています。

なんと、
ビル6階分!

高さ
16.160m



動かすには
ブルドーザー約100台必要!



重さ
4839t
(483万9000kg)

— はば —

19.175m

百万貫の岩が流れたルート

昭和9年 7月10日

白峰では、400mmをこえる大雨が降りました。
そして、例年にはない大量の雪解け水も重なり宮谷川
の上流で土砂崩れが起きました。



天然ダムがほうかいいしき
とめられていた宮谷川の水と土
砂が一體となり、一気に下流
へおじ流れた。
(土石流の発生)

百万貫の岩



土石流となり、**百万貫の岩**
いきおいよく流された。

土石流は時速40km~50km

前のページのうらにはてある
とうぬいのシートを重ねてみて
下さい。

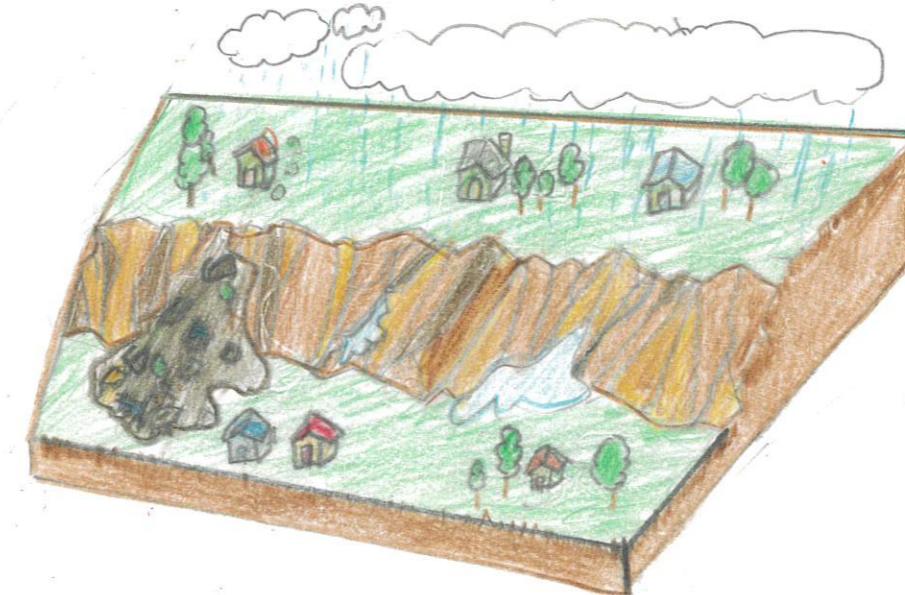


Google

百万貫の岩が流れた時のように
大雨によって地面がゆるむと、土砂災害といふ
きけんがあります。土砂災害とはいとは、
土砂が動くことによって起きる災害です。
大きくわけて地すべり・土石流の3つに
分かれています。

1. かけくずれ

地中にしみこんだ水分が
地盤を弱くし、大雨や地震
などのえいきょうによって、しゃ面の
土が大量にくずれ落ちる現象。
突然起きるため、人家の近くで
起こると、にげおくれる人も多く、
死者数が多くなる。



土砂災害とは

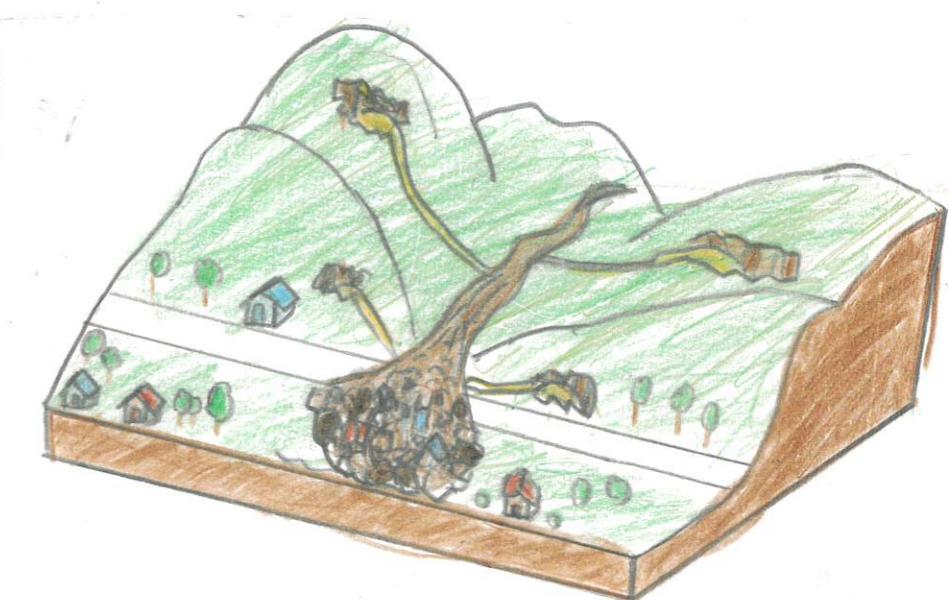
2. 地すべり

ゆるやかなしゃ面の場所で、
ねん土のようなすべりやすい
地そうに雨水などがしみこみ、
そのえいきょうで地面が動き
たす現象。
広いはんいにわたって起こるのが
特ちょうで、動きだすと完全に
止させるのはむずかしい。



3. 土石流

山や谷の土砂や岩石などが、
長雨や集中ごう雨によって水と
一体になり、一気に下流へおし
流れる現象。
流れの速さは時速20~40
キロメートルとなる場合もあり、
いいしゅんのうちに人家や田畠など
をのみこんでしまう。



白峰の特ちょうと土砂さいがい

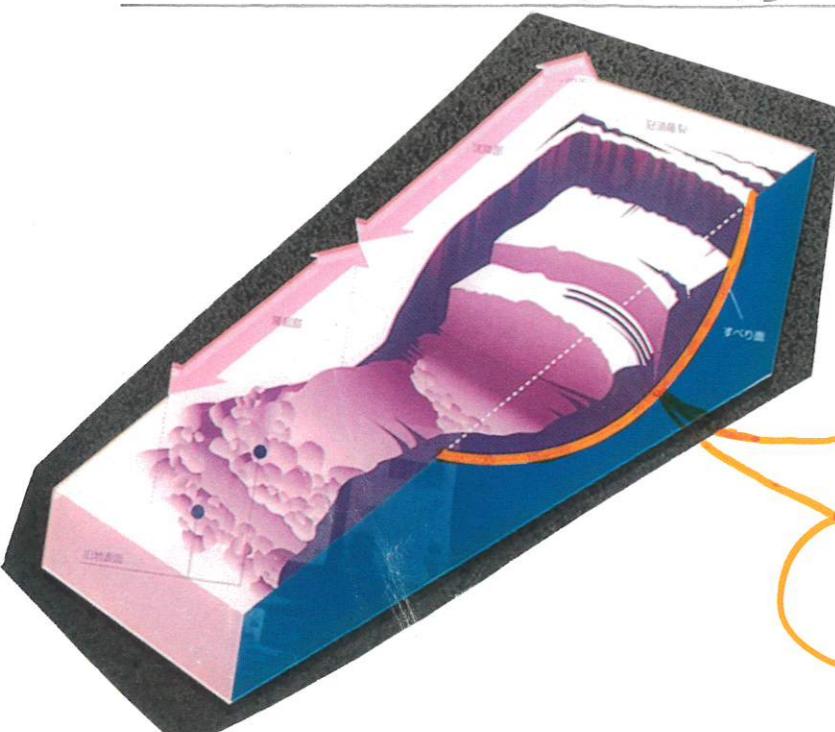
白峰は大雪になる地いきで、毎年たくさんの雪がふります。その雪じけ水は地面の中にしみこみ、大地がゆるんで重力がやすくなり、地すべりが発生しやすくなります。



そうが交ごに
つみ重なった手
取川そう群が

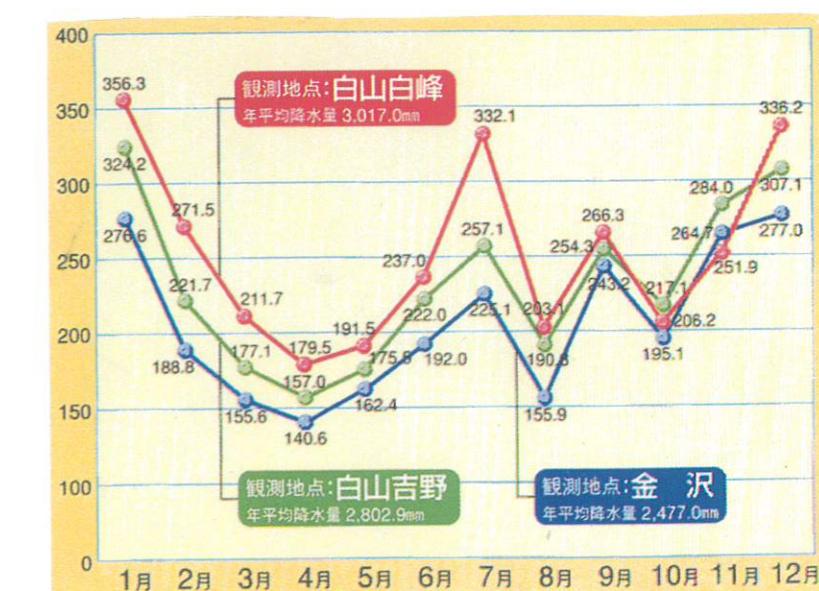
ありくずれやすいという特ちょうがあります。

このうち、けつ岩は、粘土やどうがつみ重なり、固まってできた岩石です。粘土化しやすく、地すべりのすべり面になりやすいです。



大雨などで雨水が地面にしみこむ
↓
しゃ面に粘土のようなけつ岩のそうが
あると、そこがすべりやすくなる

白峰は雪だけではなく雨も多いです。下の図の赤いおれ線グラフは白峰の1年間の雨量を表しています。1月と12月は冬なので雨ではなく雪がふっています。7月は梅雨へ夏なので雨もよくふり、冬にも、いた雪もとけて雪じけ水となるので地面の中にしみこんだ水の量はとても多くなりやすい時期です。



＜まとめ：自分が考えたこと★＞

私は百万貫の岩について知り、びっくりしたことあります。高さ16.160m「はば」19.175m、重さ4839tもあり、ブルドーザー約100台も使わないで動かせないといふ百万貫の岩が、約2kmも流されるなんて土石流の力はとんでもなく強い力であるということです。

百万貫の岩は、大洪水で流されたといふことは学校できいていたけど、初めて百万貫の岩を見た時は、ただ、わ～大きいな～と思、ただけで、流されてきた土石流の力のすごさ、大きいのすごさは知りませんでした。今回、砂防科学館に行き、百万貫の岩のパネルを見たり、えい画を見たりしました。そして、林茂さんの

「白山大水害にそぐうした強力達の記ろく～百万貫の岩流出～」という絵本を読みました。

昭和9年に大雨がふって、白峰の自然や建物がこわれ、人もたくさん亡くなってしまっても大きなひがいがあることを知りました。今、百万貫の岩を見ると、私の好きな自然がたくさんある中にゐるので、すごいなと感動しましたが、昭和9年に、とても大変で悲しい出来事があったから、私は今、この百万貫の岩を見られるのだと思うと、少しうつむかな気持ちになりました。

でも、今白峰のけ色や自然はとてもきれいです。土砂災害はこれまで何回もあっただろけれど、自然にはこれでも直す力があるのだと思いました。だから、



災害が起きても、私達人間もうまくつき合っていかなければならぬと思いました。

土砂災害を防ぐために、いろいろな工事が行われたり、**リアルタイム白山**といってどれだけ雨がふったかや災害が起こっていないかをカメラでかんしています。

白山砂防科学館のパネルに、土砂災害が起こる前には**8つのサイン**をしっかりと覚えたいと思います。そして、昭和9年に起きた手取川大洪水のように他の災害もいつ起こるか分からぬいので、心の用意やひなんの方法、防災グッズの用意をしておいたほうがいいと思いました。

感想

白山砂防科学館で百万貫の岩や土砂災害についてのゲームがおもしろかったです。昭和9年の土砂災害のえい画を見ました。白峰ではこんなに大きなことが起きていたのだなと思いました。でも、私は自然がたくさんあって、緑や空気がきれいな白峰が大好きです。



8つのサインに注意しよう

- ①川がにごった
- ②水位が上がった
- ③きれつが走った
- ④石が落ちてきた
- ⑤わき水が止まった
- ⑥わき水がふえた
- ⑦井戸水がにごった
- ⑧地鳴りがする

引用、参考にした物

1. 白山砂防科学館内のパネル、ゲーム内容、えい画でみたこと
2. 白山砂防科学館ホームページ「白山の気ようがい要」
「白山砂防の事ぎょうがい要」
3. 水害の大研究-なぜ起こる?どうなれる? 河田 恵昭(かんじょう)
PHP研究所, 2020.
4. 災害から学ぶユニバーサルデザイン 神保 哲生(かんしげ)
あかね書房, 2012
5. 白山大水害にそくくうした強力達の記ろく~百万貫の岩流出~ 林茂(繪・詩)